

# Catalyst 3850スイッチの交換 – CPAR

## 内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[省略形](#)

[MoPのワークフロー](#)

[UltraMセットアップのCatalystスイッチ](#)

[前提条件](#)

[スイッチ交換手順](#)

## 概要

このドキュメントでは、Ultra-Mセットアップで障害のあるCatalystスイッチを交換するために必要な手順について説明します。

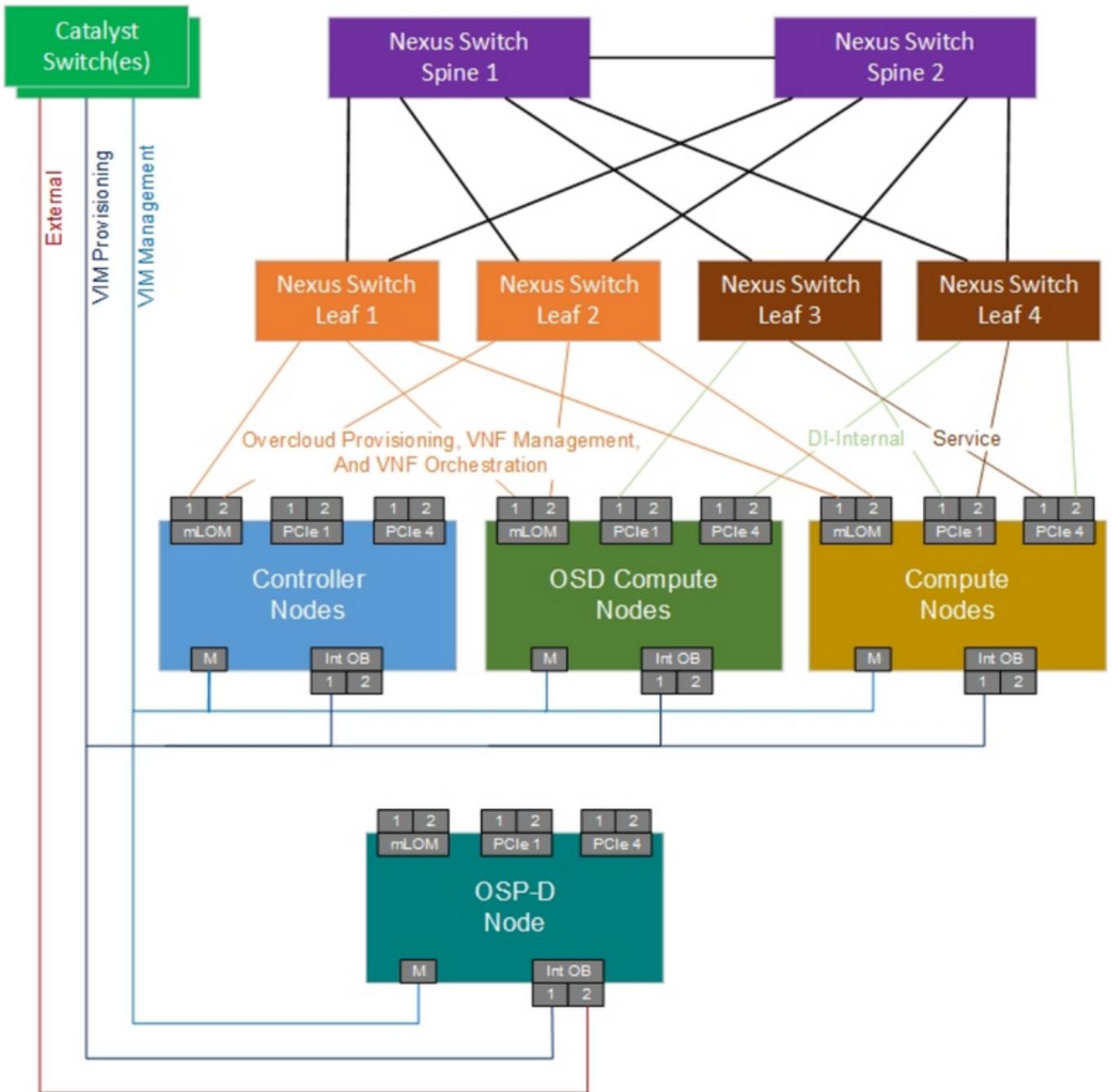
この手順は、ESCがCisco Prime Access Registrar(CPAR)を管理せず、CPARがOpenstackに導入されたVMに直接インストールされているNEWTONバージョンを使用するOpenstack環境に適用されます。

## 背景説明

Ultra-Mは、VNFの導入を簡素化するように設計された、パッケージ化および検証済みの仮想化モジュールコアソリューションです。Ultra-Mセットアップの一部であるサーバは、次の3種類のスイッチに接続されます。

- Catalyst スイッチ
- リーフスイッチ
- スパインスイッチ

Ultra-Mセットアップのネットワークトポロジを図に示します。



注：ネットワークポロジは単なる表現であり、スイッチ間の接続は若干異なる場合があります、導入するソリューションによって異なります。

このドキュメントは、Cisco Ultra-Mの設定とCatalystスイッチの動作に精通しているシスコの担当者を対象としています。

## 省略形

VNF	仮想ネットワーク機能
CAT	Catalyst スイッチ
MOP	手続きの方法
LAN	ローカルエリアネットワーク
FTP	File Transfer Protocol ( ファ

TFTP      イル転送プロトコル)の略。  
            トリビアル ファイル転送プ  
            ロトコル ( TFTP ) ( Trivial  
            File Transfer Protocol ) #と  
            りびあるふあいるてんそうぶ  
            ろところTFTP #

CIMC      Cisco Integrated  
            Management Controller

## MoPのワークフロー

この図は、交換手順のワークフローの概要を示しています。

